

(様式4)

情報公開文書

課題名 : インフルエンザ診療におけるテレメディシンの経済的メリットと患者負担の比較

夜間・休日時間外のアンビスペクティブコホート研究

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～ 2025年8月31日

研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2013年12月1日～2019年12月31日の間に、浜松医療センターに時間外受診されインフルエンザと診断された方。

2. 研究目的・方法

近年、日本の医療費の高騰により、国民皆保険制度の持続性が懸念されています。特に、毎年多くの感染者が発生するインフルエンザは、検査費や薬剤費などその経済的負担が大きく、また患者さんにとっても夜間や休日の受診は大きな負担となっています。

新型コロナウイルス感染症の流行を経て、オンライン診療やセルフ検査が普及してきました。これらを組み合わせることで、医療機関への直接的な来院を減らし、患者さんの負担を軽減できる可能性があります。しかし、インフルエンザ診療におけるオンライン診療の経済的メリットや患者さんの負担軽減効果について、日本国内での具体的な検証は十分に行われていません。

この研究では、夜間や休日時間外において、インフルエンザ迅速抗原検査セルフテストとオンライン診療を組み合わせた場合の経済的メリットや、患者さんの負担(受診までの時間や精神的負担など)を明らかにし、従来の対面診療と比較することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

カルテ記載から発症から受診までの日数、既往歴などの診療情報と保険診療でかかった費用、受付から診察開始となった時間、居住地から当院までの移動にかかる推定時間等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

2024年12月06日作成

(様式4)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 感染症内科 田島靖久(研究責任者)

住所:静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話:053-453-7111(病院代表)